めざせ!!

地域のヒーロー 消防団

問合せ
防災課地域防災係

第１分団　分団長
浅岡裕之さん

第１分団を紹介します

私たち第１分団は、新川・道場山・天王地区を管轄しております。日ごろより地域の皆さんには、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、市民の生命・財産を災害から守るため、日夜訓練に励んでおります。

今年度は「昨日の自分を超えて行け！」を分団スローガンとし、消防団活動から得られた経験により、ひとつでも自身の成長を実感できるような運営を心掛けています。

私は、個々の団員が自分の役割を認識し、率先して担いを全うしようとする責任感と姿勢が大切であると考えています。そして市消防団が、若き団員たちにとって良き学びの場となることを願っています。

今まさに次年度の団員募集が行われています。任期はわずか５年です。地域の防災力に貢献し、自身の存在意義を感じてみてはいかがでしょうか。新たな友との出会い、ここでしか得られないかけがえのない体験を皆さんに知っていただきたいです。ここに多くの同志が集うことを期待しています。

最後になりますが、地域の皆さんからの期待に応えられるよう精一杯努めます。今後もよろしくお願いします。

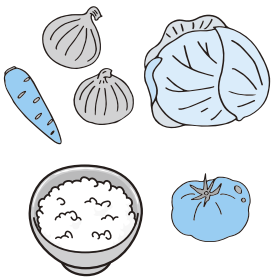
町をきれいに　クリンピー情報局

問合せ　環境課ごみ減量係

食品ロスを減らそう

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられている食品のことです。

日本では、年間約2,800万トンの食品廃棄物が出ています。このうち、まだ食べられるのに捨てられるもの（食品ロス）は、年間約600万トンと言われています。この量は、世界食糧基金による世界各国への食料援助量の約２倍に相当します。これを日本人１人当たりに換算すると、毎日お茶碗１杯分の食べ物を捨てていることになります。しかも、捨てられた食べ物をごみとして処理するために燃料が使われ、地球温暖化にもつながります。また、処理するための費用は税金から支払われることになるのです。



家庭からの食品ロスの原因は大きく３つに分けられます。食品ロスを減らすため、私たちは日常生活で何ができるでしょうか。

直接廃棄　買いすぎや冷蔵庫などに入れたままで、調理されない食品

食べ残し　作りすぎや好き嫌いなどで、食べ残される料理

過剰除去　不適切な調理や過度の健康志向により、取り除きすぎた食材

「３０１０運動」を知っていますか

年末年始は宴席が多くなる時期です。その際の食事はどうしていますか。

３０１０運動は「宴席の開始から30分と閉宴10分前には、席に座って食事を楽しみましょう」という食品ロスを減らすための取組みです。

近年、全国に広がりつつあります。皆さんも少しでも食品ロスを減らすことを考えてみませんか。